

“房総の小江戸”大多喜をガイドさんと散策する春の一日

イヤホン
ガイド付生活クラブ
スタッフ
提案の旅
伊藤 望 企画

菜の花の中を行くローカル列車全線乗車！と かやぶき古農家での「雅流懐石」料理

いすみ鉄道

いすみ鉄道は1988年に第三セクター鉄道として発足しましたが、乗客減少により一時は廃線の危機にさらされました。その後、あの手この手の誘客作戦が功を奏し、今や鉄道ファンだけでなく、全国的に有名な人気のローカル鉄道となりました。特に春3月から4月にかけては線路脇に地元ボランティアさんが種まき・草刈りと丁寧に手入れをしてくださっている菜の花が満開を迎えると、さらに運が良ければ桜の花が周囲に咲き誇り幻想的な「美の共演」が見られる（運が良ければ桜も見頃を迎えます（イメージ））かも知れませんよ！？通常のツアーではいすみ鉄道の一部区間だけを短時間乗車しますが、菜の花や桜のポイント、そして絶景ポイントが沿線の全線に点在していることから、今回は思い切って上総中野駅～大原駅まで全線乗車（約57分）を目指します！

※菜の花および桜の開花時期は気象条件等によって変わるのでご覧いただけない場合があります。※いすみ鉄道の乗車時刻はダイヤ改正等で変更される場合があります。※いすみ鉄道は普通列車自由席への乗車となります。混雑状況により着席できない場合があります。

房総半島のほぼ中央に位置する大多喜町

ここは「徳川四天王」の一人、本多忠勝ゆかりの城下町で、往時の面影が残っている事から「房総の小江戸」と呼ばれています。この大多喜の町をボランティアガイドさんの案内でじっくりと散策します。また町内の人気の道の駅「たけゆらの里おおたき」にも立ち寄ります。

※大多喜城は現在施設改修のため無期限閉館中で入城できないため立ち寄りません。



かやぶき古農家レストラン「愚為庵(ぐいあん)」でのご昼食

童謡「月の沙漠」のふるさと・御宿町の築約200年以上のかやぶき農家で女将おまかせの「雅流(がりゅう)懐石」料理をいただきます。『大地農園』という農園直営の古民家を改装した食事処で、自家栽培のお米をはじめ地物の里の幸・海の幸がふんだんに使われています。また春はなんといつも地元名物のたけのこが美味でお薦めですよ！

※和室座敷での食事となり椅子席はありません。

※たけのこの収穫状況は気象条件等によって毎年変わりご提供できない場合があります。その場合は代替のものをご提供しますので予めご了承ください。



築200年以上のかやぶき古農家を改装した「愚為庵」

Menu

・先付け・中付け・汁物・炭火焼き
・揚げ物・ご飯・デザート・コーヒー



イメージ



菜の花の間を縫って走るいすみ鉄道列車（イメージ）

旅行日 2023年3月29日(水)・30日(木)・31日(金) ※日没時間:18:00頃

旅行代金 (お一人様) 23,800円 募集人員 20名様
(最少催行人員12名様)

8:00 東京駅丸の内口・丸ビル前 → 首都高・東京湾アクアライン・圏央道 → 上総中野駅 → 10:33発・いすみ鉄道・普通列車自由席乗車 → 11:30 大原駅着 → 12:00 御宿町「愚為庵」にて雅流懐石の昼食 → 道の駅「たけゆらの里おおたき」 → 15:00頃 ボランティアガイドの案内で大多喜城下町散策 → 圏央道・東京湾アクアライン・首都高 → 海ほたる(休憩・買物) → 18:30～19:00 東京駅着 食事:朝×・昼○・夕×

添乗員/同行します 食事/昼食1回

交通機関/中型または大型貸切バス(1名様2席利用・予定運行会社/アルモニア等、いすみ鉄道)
集合場所・時間/東京駅 丸の内口・丸ビル前・午前8時00分出発

ご案内/※天候・道路状況により観光順序を入れ替える場合がございます。